

みんなが分かりやすい授業

～授業のUD (ユニバーサルデザイン)～

福島県特別支援教育センター



1

みなさんの学級(学校)には、
どのようなお子さんが在籍していますか？

2

学級・学校には、多様な子どもたちが在籍しています

例えば…

- 障がいによる困難さ
- 不登校(登校渋り)
- 成績不振
- 日本語指導が必要
- 心のケアが必要
- など



3

子どもも大人も
過去の経験、感じ方や考え方、特性、性格、得意・不得意等
みんな一人一人違います

学習場面においても…

見て覚えることが
得意な子

聞いて覚えることが
得意な先生



体験して覚えることが
得意な子

聞いて覚えることが
得意な子

4

多様な子どもたちが共に学ぶ上で
大切になってくるのが
UD (ユニバーサルデザイン※) の考え方です
※以下「UD」と示す

授業におけるUDについて考えていきましょう

5

内容

1 UDとは

2 授業のUDにおいて大切にしたい考え方

6

1 UDとは

UDとはどのようなイメージですか？

7

UDとは

「ユニバーサルデザイン」は、年齢や性別、身体的能力などの違いにかかわらず、はじめから、できるかぎりすべての人が使いやすいように、製品や建物、空間をデザインしようとする考え方

例えば

- ・押しやすいように低い所に押しボタンがある自動販売機
- ・誰にでも利用しやすいように設計されたトイレ
- ・区別しやすいようデザインされたシャンプー・リンスのボトル



多様な人々が共に生きる共生社会を目指す

参考：福島県男女共生課ホームページ「ふくしまユニバーサルデザイン」

8

UDとは

「ユニバーサルデザイン」は、年齢や性別、身体的能力などの違いにかかわらず、はじめから、できるかぎりすべての人が使いやすいように、製品や建物、空間をデザインしようとする考え方

(例:車いすの人や子どもでも押しやすい、低い所に押しボタンがある自動販売機 等)

参考:福島県男女共生課ホームページ「ふくしまユニバーサルデザイン」

授業に置き換えて考えてみましょう

障がいの有無や性別、能力の違い等に関わらずできるかぎりすべての子どもたちが「分かる・できる」ように授業をデザインしようとする

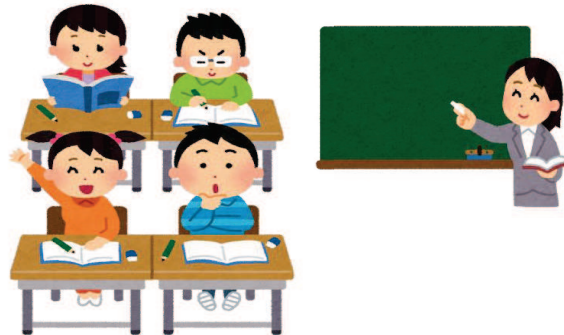
学びの充実へ

9

2 授業のUDにおいて大切にしたい考え方

10

学級には、多様な子どもたちが在籍しています
みんな違って当たり前!



子どもたちにとって分かりやすい授業の工夫として、
どのようなものがあるか見ていきましょう

11

授業のUD

(具体例) ※あくまでも例です 実態により異なります

- 不要な掲示物は外し、黒板に注目できるようにする
- 板書の決まりの統一 **板書の構造化**
- **授業の流れを提示し、見通しをもてるようにする**
- 何をどのように取り組むか具体的に伝える
- 説明の際は、言葉だけでなくイラストや図等を活用し、**視覚的に捉えやすくする**
- 話しやすいグループ編成等、**様々な工夫が考えられます**

できるかぎりすべての子どもたちが「分かる・できる」ように授業をデザインする

子どもたち、学級の実態によって工夫や手立ては変わります
上記例を取り入れた時、それは学級の実態に合っていますか?

12

次の例で考えてみましょう

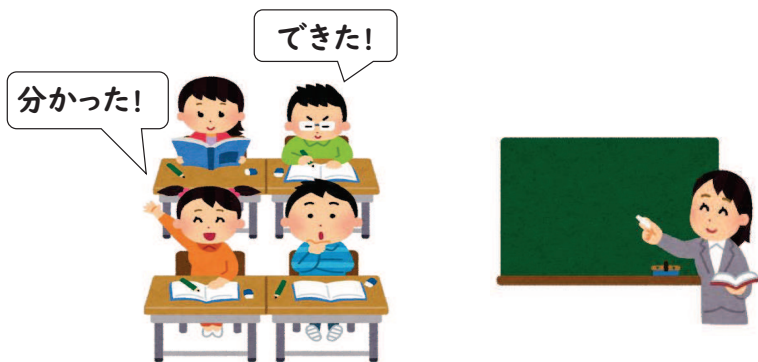
不要な掲示物を外す

なぜ、掲示物を外すのでしょうか？

掲示物があることで授業に集中できなくなる子の場合

- ・刺激に弱く、注意がそれやすい子どもがいる実態
→有効かもしれません
 - ・刺激があっても上記課題が改善された場合
→掲示を外す必要がないかもしれません
- 他) 実態によっては「見通しをもつため」の掲示物が必要な子どももいるかもしれません
実態により、上記の工夫が必要かどうか変わってくるでしょう

13



みんなが「分かる・できる」授業
多様性を認め合える学級経営の視点が大切

互いを理解し合う、認め合う、支え合う
共生社会へ

15

授業をデザインする中で、
何のためにその工夫や手立てを行っていますか？

授業のUDを進める上でも「何のために」を意識していくことは大切！

その手立ては子どもの「わかった・できた」につながったのか
その手立ては教科の目標達成に向けて有効だったのか
評価・改善していくことが必要！

まずは子どもたちをよく見ること
子どもを**理解**しようとする

※「子どもを理解するために大切なこと」「個別の配慮」については
動画コンテンツをご覧ください

14

子どもの「安全・安心」が学びの基盤

「間違えても大丈夫」「みんなが助けてくれる」
「いつも自分の考えを認めてくれる」

全教育活動を通して、互いを認め合い、助け合い、
高め合う学級の風土（**支持的風土**）づくりが重要

教師が子どもを受け止め、良さを認め、褒めていく
「承認・称賛・価値付け」が重要

ポイント！

人的環境を整えること（人的環境のUD）が重要

16

～みんなが分かりやすい授業に向けて～

- 子どもを理解しようとしていますか？
- 何のためにそのUDを行っていますか？
- 安心して学ぶことができる環境が整っていますか？
- UDは教科の目標達成に向けて有効でしたか？実態に合っていましたか？



みんなが分かりやすい授業づくりにより、
子どもたちの「学びの充実」へ
「生きる力の育成」へ
共生社会の形成へとつながります！



17

学校（授業）において

UDとは？（説明してみましょう）

UDを進める上で、今後大事にしていきたいことは？

自己・他者との対話を通して考えてみましょう 18